

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 ミナトエレクトロニクス株式会社

コード番号 6862 URL <http://www.minato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 若山 健彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長兼社長室長 (氏名) 門井 豊

TEL 045(591)5611

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	602	—	△12	—	△14	—	△15	—
26年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △15百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△0.71	—
26年3月期第1四半期	—	—

(注) 27年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、26年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,296	—	933	—	—	39.1
26年3月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 897百万円 26年3月期 —百万円

(注) 27年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、26年3月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,150	—	△26	—	△31	—	△40	—	△1.81
通期	2,500	—	32	—	13	—	1	—	0.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社イーアイティー、除外 1社 (社名)
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	22,111,192 株	26年3月期	20,455,152 株
27年3月期1Q	8,837 株	26年3月期	8,837 株
27年3月期1Q	22,102,355 株	26年3月期1Q	17,854,683 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期及び前事業年度末との対比は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成26年4月に実施された消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が懸念されましたが、政府による経済政策や日本銀行による金融緩和策などにより、企業収益や個人消費の大幅な落ち込みは見られず、景気は回復基調を維持しております。一方で世界経済については明るい兆しが出てきているものの、新興国経済の先行き不透明感など楽観視できない状況にあります。当社の主要取引先であります電子機器メーカーにおきましても、国際競争の激化など依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社におきましては、平成26年4月8日付で株式会社イーアイティーとの株式交換を実施し、同社を完全子会社としており、システム開発関連事業を当社グループに取り込んだうえ、タッチパネル関連事業で新たな商材にて大型タッチパネル市場への参入をしております。

以上の結果、当社の当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高602百万円、営業損失12百万円、経常損失14百万円、四半期純損失15百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

①デバイス関連

前事業年度において、オートモーティブ関連企業へオートハンドラ（自動プログラミングシステム）の売上が拡大でき、当第1四半期連結累計期間は、その関連製品（新規デバイス対応）の売上が微増ではありますが効果が出始めております。また、今期も継続して設備機器メーカー関連等にオートハンドラの売上が堅調に推移してきており、海外展開も効果が表れてきております。書込みサービスでは、スマートメーター関連の売上が倍増しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は140百万円、セグメント利益（営業利益）は28百万円となりました。

②タッチパネル関連

当セグメント製品のうち、タッチパネル分野においては、ATM用中型タッチパネルの売上及び自動販売機向けの小型タッチパネルの売上がほぼ計画通りに推移し、大手ディスプレイメーカー向けの大型タッチパネルの売上が計画を大幅に上回る結果となりました。また、デジタルサイネージ分野においては、屋外向けデジタルサイネージシステムが売上を牽引し、ほぼ予定通りの売上を上げる結果となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は296百万円、セグメント利益（営業利益）は9百万円となりました。

③システム開発関連

当第1四半期連結累計期間より、株式会社イーアイティーを連結の範囲に加え、新たにシステム開発関連事業を営んでおります。当セグメントは、情報処理システム開発及び技術者の派遣を主な事業としております。当事業では、金融機関のシステム導入などの大型案件による景況感の改善で受注高は安定的に推移しているものの、業界内での技術者不足の影響でパートナー技術者の獲得が進まず、技術者が微減となる中で、売上及び営業利益は伸び悩む結果となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は165百万円となりました。セグメント利益（営業利益）につきましては5百万円の損失となりました。

④その他事業

当社は、新たな育成事業として環境エレクトロニクス（ECO）事業の立ち上げを推進しているところです。太陽光発電事業（売電を含む。）への取り組みの他、LED、無電極ランプ、電解水生成器販売など新たな商流づくりを行っております。

これらの結果、当セグメントの売上高は0.6百万円、セグメント利益（営業利益）は0.6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間の総資産は、2,296百万円となりました。

流動資産は、1,327百万円となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金637百万円、現金及び預金371百万円であります。

固定資産は、968百万円となりました。主な内訳は、土地635百万円、有形固定資産その他142百万円、投資その他の資産108百万円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間の負債は、1,363百万円となりました。

流動負債は、1,068百万円となりました。主な内訳は、短期借入金605百万円、支払手形及び買掛金262百万円であります。

固定負債は、294百万円となりました。主な内訳は、再評価に係る繰延税金負債109百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間の純資産は、933百万円となりました。主な内訳は、資本金1,440百万円、資本剰余金312百万円、利益剰余金△772百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当第1四半期連結会計期間より連結決算を開始いたしました。これに伴い、平成27年3月期第2四半期累計期間及び通期は連結業績予想を開示しております。業績の予想といたしましては、平成26年5月9日に公表いたしました業績予想のとおりに移すと思われま

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期累計期間において、簡易株式交換の方法により、株式会社イーアイティーを完全子会社としたため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成26年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	371,348
受取手形及び売掛金	637,963
商品及び製品	100,619
仕掛品	86,110
原材料及び貯蔵品	91,834
その他	39,865
貸倒引当金	△10
流動資産合計	1,327,732
固定資産	
有形固定資産	
土地	635,450
その他	1,304,616
減価償却累計額	△1,162,414
有形固定資産合計	777,651
無形固定資産	
のれん	52,793
その他	29,770
無形固定資産合計	82,564
投資その他の資産	
その他	153,551
貸倒引当金	△44,904
投資その他の資産合計	108,647
固定資産合計	968,863
資産合計	2,296,596
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	262,977
短期借入金	605,201
1年内返済予定の長期借入金	60,870
未払法人税等	3,100
賞与引当金	6,134
製品保証引当金	1,000
その他	129,545
流動負債合計	1,068,828
固定負債	
長期借入金	68,448
役員退職慰労引当金	15,590
退職給付に係る負債	82,026
その他	128,659
固定負債合計	294,723
負債合計	1,363,552

（単位：千円）

当第1四半期連結会計期間
（平成26年6月30日）

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,440,776
資本剰余金	312,268
利益剰余金	△772,831
自己株式	△914
株主資本合計	979,298
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	8,032
土地再評価差額金	△89,339
その他の包括利益累計額合計	△81,306
新株予約権	35,052
純資産合計	933,043
負債純資産合計	2,296,596

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	602,034
売上原価	420,554
売上総利益	181,480
販売費及び一般管理費	193,746
営業損失(△)	△12,266
営業外収益	
受取賃貸料	2,880
その他	986
営業外収益合計	3,867
営業外費用	
支払利息	5,281
その他	717
営業外費用合計	5,998
経常損失(△)	△14,397
税金等調整前四半期純損失(△)	△14,397
法人税、住民税及び事業税	1,342
法人税等合計	1,342
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△15,739
四半期純損失(△)	△15,739

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△15,739
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	637
その他の包括利益合計	637
四半期包括利益	△15,101
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△15,101
少数株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年4月8日付で、株式会社イーアイティと簡易株式交換を行いました。この結果、当第1四半期累計期間において資本剰余金が115百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が312百万円となっております。